

夢に向かって

～進路実現を目指して～

2 学年通信第 3 号

◎ 2 年生になり一ヶ月、新しい生活には慣れましたか？

2 学年は“ホップ・ステップ・ジャンプ”のステップを行う学年です。3 年生になったとき、目標に向かって大きく“ジャンプ”できるよう、まずは気持ちをリフレッシュして、3 年生に向かって“ステップ”していきましょう。

2 学年として 1 学期の流れ・学習のポイントについて

月	学校行事	テスト関係	学習・生活のポイント	進路関係
5	体育祭準備開始 県総体推戴式 春季地区大会 県総体	中間考査 (5/18～/20)	・どの教科にもまんべんなく取り組む。 ・2 年生としての学習習慣の確立に努める。	進路志望調査 (4 月)
6	体育祭 (6/8) 保護者懇談会 (6/13～17)		・進路希望に合わせて、科目選択を考える。 ・オープンキャンパスの参加等、大学研究を行う。	第 1 回県内大学説明会 (普通スポーツコース) 国立大学模擬授業 (特進コース)
7	終業式 (7/25) 夏期進学講座 前期 (7/26～8/4) 後期 (8/16～25)	期末考査 (7/1～7/6) 進研模試 (7/9)	・自分自身の志望校決定する。 ・学習時間を確保し、国数英の基礎固めを行い、受験に向けた学習態勢にする。 ・夏期進学講座を活用して、学習習慣を崩さずに、学習時間を確保して夏休みを過ごす。	第 2 回県内大学説明会 (普通スポーツコース)
8	特進コース学習合宿 (8/16～18) 於 妙高 始業式 (8/29)	課題テスト (9/1)		

◎ 2 年生としての学習習慣の確立に努めよう！

2 年生になると、皆さんも感じているかと思いますが、授業の難易度も上がり、毎日の予習と復習をしっかり行っていないと、あっという間に授業についていけなくなります。来週は、2 年生になって初めての定期考査も行われます。この定期考査を利用して“2 年生としての学習習慣”が確立されているかのチェックを行いましょう！

ここを check

- 家庭学習の時間は、毎日決まった時間確保されている。
- 毎日の授業に、集中して取り組むことが出来ている。
- 課題や提出物は、締め切りを守って提出することができている。

中間考査 5月18日(水)～20日(金)

定期考査を10倍有効活用しよう！！

定期考査を今までより10倍有効活用するために、まず「定期考査って何のためにあるの？」ということから考えてみましょう。

定期考査の最大の目的は、下記の2点に尽きるでしょう。

- ① 予習と授業で理解した内容を改めて復習することで、教科書の内容が定着する。
- ② 試験を受けることで分からなかったことが見付き、解き直すことで理解が深まる。

したがって、試験前に教科書の内容を繰り返し復習し、今覚えておかなければならない知識は完璧に定着させようとしてください。英単語、熟語、文法事項、古語、漢文の句形などは、試験ごとにまとめて頭の中で定着させていくことが肝要ですし、地歴は教科書が最も重要な参考書と言われくらい教科書を理解し、覚えていくことが大切です。また数学は教科書で基本的な解き方を理解し、その他授業で使っている問題集でたくさん問題を解くことがなにより大切です。理科も、教科書で基本的な知識を得て、さらに問題を解くことによって教科書の知識が使えるようになります。したがって、定期考査の学習を通して『試験対策ノート』を作って、知識をまとめておくことも重要でしょう。

しかし、完璧に対策をしたとしても試験で満点が取れるわけではないので、テスト問題が返却されたら、再度同じ問題を解いてみるのがなにより重要です。

そうやって定期考査を十分に活用して基礎学力を身につけていってください。

もう一つ大切なこと。これが今回のポイントです。将来の入試に備え大学進学後も役に立つ定期考査の利用方法はどのようなものでしょうか。決して定期考査のためだけの学習で終わらせないために。

ある大学の教授によると、大学入試で問われるのは「その大学で学問を身につけていくのに適しているか?」「初めて目にした問題に対して論理的に考えることができるか?」だそうです。また大学での勉強というのは、授業に出席していればいいというのではなく、授業を基にして「自分で調べる→疑問を見つける→論理的に解決する(仮説を立てる)→自分の仮説をゼミで叩き台として皆で検証する」といった作業が最も重要なことです。

したがって、前述の『試験対策ノート』を作成しながら、**自分の頭の中の思考回路(考える道筋)を作る**こと大切です。なぜこうなるのか?こうだからこうだ、と考えながら学習していきましょう。

また、試験が返却されたら、『**反省ノート**』を作成しましょう。

そこで最低必要なことは次のことです。

- A 間違えた問題について「**何故できなかったのか?**」「**どう考えれば良かったのか?**」「**問題の中のポイントやヒントは何だったのか?**」を整理し書き出す。
- B 数学、理科は、できるまで解き直す。そして問題集で同じ範囲の問題を解きまくる。
- C 文系科目は定着していなかった単語、熟語等の知識をまとめておく。

そして自分の工夫を加えて、オリジナルノートを作成し、いざ受験勉強になったら、それを覚え直す、問題を解き直すことで、入試に対応できる学力になっていくのです。

この「反省ノート」は模擬試験においてはさらに重要です。必ず模試の後には、「反省ノート」で模試レベルの学力アップを図ってください。

『試験対策ノート』『反省ノート』は目先の定期考査の勉強のためだけでなく、入試対策に非常に重要ですし、将来必要となる【自分で調べる→疑問を見つける→論理的に解決する】という学問に対する適応力も身につけることができるのです。